

事例項目	市イメージキャラクター「ガラスケ」を多彩に活用して市民に好評を得ていることについて
事例発生時期	平成23（2011）年～平成25（2013）年3月
担当課	市民生活部産業振興課を中心としてあらゆる部署にて活用
事例概要	<p>①ガラスケの決定 平成23（2011）年度に、本市におけるオンリーワン・特色あるまちづくりを推進する目的で、都市ブランドの確立をテーマに庁内会議で議論を重ね、「おすまさんと笑い猫」という門真に伝わる民話に登場する猫「ガラスケ」をヒントに、市のイメージキャラクターとしてゆるキャラを創設することとした。 キャラクターのデザインは全国公募及び市民投票により決定。（計93件の応募）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャラクターの公募から投票による決定までの費用 入選者謝金 110,000円（最優秀賞1点 優秀賞2点） 投票者謝礼 25,000円 <p>平成24（2012）年8月、ガラスケのデザインを決定した。</p> <p>②ガラスケ着ぐるみの作成 ガラスケの着ぐるみを作り、様々なイベントに出演しメディアへの露出等による知名度を上げる活動により、門真市のイメージアップを図っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・着ぐるみ作成費（2体） 1,113,000円 ・活動委託料 993,600円 <p>③ガラスケのPRグッズの作成及び販売 クリアファイルや手ぬぐい等を作成し、ガラスケのPRに努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作成費用 352,500円 <p>④ガラスケデザインの作成と活用 ガラスケデザインを市民・職員等もさまざまな場面で活用しやすいよう、基本イラストの3パターンに加え、42パターンに拡大して作成したものを市ホームページに掲載した。 ガラスケデザインの活用については、庁外の団体や民間企業等に対し、ガラスケの使用が門真市産品の推進や市のPRに寄与すると認められた場合には、使用することができるようにしている。また個人的な使用に関しては申請を必要とせず自由に利用することができるようにしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入札により、42パターンの作成を実施 ・作成費用 200,000円 <p>⑤主な事業内容（別添資料参照）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガラスケラッピングバスの運行（平成24（2012）年11月から運行） ・ガラスケのイベント出動 ・PRグッズ（ボールペン・缶バッジ・ポロシャツ等）販売 ・ガラスケデザイン(イラスト)の活用

事業効果など

①ガラスケのイベント出勤など

積極的なイベント出演やラッピングバスの運行により、市内外を問わず、イベントへの出演依頼が増加した。特に、市内イベント時には子ども達が名前を呼びながらガラスケを囲み、写真撮影を求められる機会が増え、市民に愛されるキャラクターとしてイベントの活性化に一役買っている。そのため、イベント主催者から、お礼を言われることも増加した。

また、その愛くるしいキャラクターが認められ、大手飲料メーカーの広告に出演するなど、活躍の場を広げている。さらに、他府県からファンレターが届くなど、門真市の認知度向上に大きく貢献している。

②PRグッズの販売

PRグッズのうち、特にポロシャツについては、市職員が積極的に購入し庁内で着用することにより、市民へ波及し初回販売枚数は完売した。その後も、市民からの追加販売の問合せが多数寄せられ、市民要望に呼応し追加販売を開始するなど、好評を得ている。

③ガラスケデザイン(イラスト)の活用

庁内では、市民向けパンフレットやポスターなどにガラスケのイラストを活用するケースが増え、また、多くの職員の名刺にもイラストが活用されている。

名刺を配布した相手先から、ガラスケを「かわいい」という声やその由来についての質問を受けることも多く、人とのコミュニケーションを円滑にするツールとなっている。

また、自転車ひたたくり防止カバーについては、市民より欲しいという問合せが多く、防犯の啓発グッズとしても好評を得ている。

原動機付き自転車のナンバープレートは、1,000枚限定で平成25(2013)年8月から配布を始め、テレビや新聞などのマスメディアで報道されるなどまちの話題となり、平成26(2014)年10月に、すでに配布が終了している。

ガラスケデザインの活用については、庁外の団体や民間企業等に対し、ガラスケの使用が門真市製品の推進や市のPRに寄与すると認められた場合には、使用することができるようにしている。また、個人的な使用に関しては申請を必要とせず、自由に利用することができるようにしている。

ガラスケの知名度が上がるにつれて、各種団体のチラシやパンフレットなどに積極的に活用されており、招き猫ということで「縁起がいい」「かわいい」という声を多数聞いている。

④まとめ

着ぐるみ及び45パターンのガラスケイラストを作成し、庁内共有を行ったことにより、庁内でのチラシやPRグッズ、事業での活用の幅が広がった。その結果、庁内での活用が市内の各種団体等まで普及し、庁外での活用に繋がっており、ガラスケが市のイメージを向上させるPRキャラクターとして活躍している。

<p>事業効果など (続)</p>	<p>◆「成功事例」として理由◆</p> <p>(1) 永続的で無限的な広がりを持つ事業であること。</p> <p>ガラスケは今後門真市が存続する限り続くものであり、その活用場面は多種多様となり、今後さらに広がり続けると考えられる。このような永続的で無限的な広がりのある事業（仕組み）であること。</p> <p>またガラスケは子どもを始め、あらゆる世代の市民に好感をもたれており、このことが「まちや行政の雰囲気」を明るくし、「子育て世帯の誘致・定着」という市の方針にも適合するものである。</p> <p>さらに、「門真市を愛する気持ちの育成」に大いに貢献するものであると考える。</p> <p>(2) 費用対効果の面で優良な事業であること。</p> <p>ガラスケ活用事業（ガラスケの誕生から多様なデザインの活用まで）の費用は、デザイン募集・選定・賞金の費用135,000円、デザイン委託費用200,000円などであり、少ない費用で大きな効果を生んでいると考える。</p> <p>(3) さまざまな職員の自発的な創意工夫による事業であること。</p> <p>ガラスケ活用事業は、担当課職員のみならず、様々な部署の職員が、あらゆる場面、あらゆる資料などにガラスケを活用することを積極的に行っている。</p> <p>このことがガラスケの知名度を上げることのみならず、事業の広がりをより大きなものにしていく。</p> <p>《【資料No.(2)-65-1】を参照》</p>
-----------------------	---